

早稲田大学 文化構想学部 古典 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	90分（現代文2問、現古漢1問）
特徴・その他	武田泰淳『司馬遷 史記の世界』（講談社文芸文庫所収）および『太平記』からの出題。 現古漢融合問題。

〔大問別講評〕

大問番号	設問番号	コメント	難易度
(三)	問十六	空欄補充問題	標準
	問十七	抜き出し問題	標準
	問十八	訓読：「寧」の反語の読み方を問う問題	標準
	問十九	漢文の解釈	やや難
	問二十	語の指示内容	やや難
	問二十一	「に」の識別	やや易
	問二十二	古文の解釈	標準
	問二十三	文学史	易
	問二十四	現代文・古文の趣旨判断	やや難

〔総合コメント〕

古文・漢文分野とも正確な知識が求められており、きちんと学習しておくことが必要である。今後もこの形式が続くかどうかは分からないが、総合的な国語力を要求する出題が予想されるので、志望者は現代文・古文・漢文をバランスよく学習し、その知識を連関させてゆくことが望ましい。